

第3学年総合的な学習の時間学習指導案

指導者 鎌谷 真樹

- 1 日 時 令和4年11月2日(水) 5校時(13:40~14:25)
- 2 学年・学級 3年1組33名
- 3 単元名 伊丹未来プロジェクト わたしが市長になったら
- 4 単元について

○児童観

- ・元気で明るく素直な子が多い
- ・分かったことは積極的に手を挙げて発表する子が多い
- ・市内めぐりや市役所の方の話を通して伊丹市に興味を持っている
- ・話し合いの経験が少なく、意見や考えを広げることが難しい
- ・自分の考えに自信を持って発表する子は少ない

○教材観

- ・市内めぐりを通して(伊丹PR大作戦)伊丹市に興味を持った子どもたちが主体的に取り組める
- ・自分の考えのよい点や悪い点に気づき、話し合いを通して考えを深め、計画を立てることができる
- ・伊丹市に提案することを目標によりよい伊丹市について意欲的に考えられる

○指導観

- ・子どもたちの自由な発想を認めつつ、人や環境にとってはどうかと問いかけ、よりよい町のあり方について考えさせる
- ・一人一市長として考えが出せるように、参考となる例示をし、話し合いの中でより深められるよう声かけをする
- ・よい点も悪い点も含めて案として提案し、自分の意見を堂々と発表させる

○他教科とのつながり

- ・国語「はんで意見をまとめよう」「わたしたちの学校じまん」
- ・社会「わたしたちの伊丹」
- ・図工「みらいのまち」



○めざすこどもの姿

調べたことをもとによりよいものを自分で考え表現し、他者に伝えることができる子ども

5 単元の指導計画

次	時	学習内容(*指導上の留意点)	評価
1	1	○自分たちが住んでみたいと思う環境やルール、テーマを考える	主 住んでみたい町について自分の考えを書こうとしている
2	2	○伊丹市はどんな町であるかを振り返る *市内めぐりで学習した場所などを振り返る	知 伊丹市にある建物や行事などを知ることができる
	3	○伊丹市がどんな町をめざしているかを知る *伊丹市のパンフレット(広報)を見る	知 伊丹市のまちづくり計画について調べることができる
	4	○伊丹未来プロジェクト例を熟議する *こんな町にしたいという例を挙げて各グループで話し合う(よい点、悪い点、環境や人に対して)	思 よい点、悪い点を考え、グループでよりよい計画を考えることができる
3	5	○自分で考えた住みたい町はどうであるかを振り返る(よい点、悪い点、環境や人に対して)	思 自分が考えた町はどうであるか考えることができる
	6	○伊丹未来プロジェクトのプレゼンを作成する	主 自分で考え、プレゼンテーションを作成しようとしている
	7	*Key noteを使ってプレゼンテーションの準備をする	思 相手に伝わるように工夫し発表しすることができる
	8		
	9		
	10	○市役所の方に対して発表をする	

知=知識・技能 **思**=思考力・判断力・表現力 **主**=主体的に学習に取り組む態度

6 単元の目標

- 知** 伊丹市のまちづくりについて知ることができる
- 思** 自分の考えのよい点や悪い点に気づき、考えをまとめることができる
- 主** 伊丹市について考えたり、調べたりして自分の考えを表現しようとしている

7 本時の目標・評価

- 思** A：自分の考えを表現し、その理由を付け加えようとしている
- B：自分の考えを表現しようとしている 「ワークシート、発言で評価」

8 本時の展開(4/10時)

学 習 活 動	指導上の留意点
1 伊丹市まちづくり基本条例についておさえる <div style="text-align: center;">〔めあての共有〕</div>	○参画・協働・熟議の意味をおさえる
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 伊丹未来プロジェクトをみんなで熟議しよう </div>	
2 例に対してよい点悪い点について考え、ワークシートに書き、クラスで意見を交流する <div style="text-align: center;">〔自力解決〕</div>	○例は Key note で提示し、次時のイメージにつながるようにする ○個人で始める前に数人発表させ、どのように書けばよいか見通しを持たせる ○悪い点が出ていない場合は、ある人にとってはどうか、環境的にはどうか自分にとってはどうかなど声かけをする
3 悪い点についてグループで話し合い、手立てを考える <div style="text-align: center;">〔対話的な学習〕</div>	○ホワイトボードに書かせ、考えをまとめさせる
4 よい点悪い点の観点について整理する ・人(乳児、子、大人、高齢者)や環境(音、光、自然) <div style="text-align: center;">〔学びの整理〕</div>	○何にとってよく、何にとっては悪いと考えることで課題が分かり、みんなにとってよりよくなる方法を考える手立てになることに気づかせる
5 伊丹未来プロジェクトを作るために必要なことや分かったことは何かをふり返る <div style="text-align: center;">〔ふり返り〕</div>	○分かりにくい場合は、黒板を見させてポイントを伝え、書かせる
(6 自分で考えたまちはどうであるか考え、スクールタクトのテンプレートに記入する〔次時へのつながり〕)	(○時間があれば、学習を個に戻し、考えさせる)

9 授業の視点

- ・熟議するためによりよい点悪い点を出させ、よりよいまちづくりを考えさせたことについて